

NPO/NGO アジア キッズ ケアだより

【住所】〒791-3131 愛媛県伊予郡松前町北川原 1054-3 【発行者】代表:喜安 美紀 【発行日】2023. 4. 26(通巻第 20 号)
【HP】<https://asian-kids-care.com/> 【E-mail】kids@asian-kids-care.com 【団体設立】2004. 2. 11 【法人設立】2011. 9. 13
【TEL】090-5912-4515(事務局長:喜安) 【郵便振替】口座番号: 01600-5-13009、口座名義: NPO法人アジアキッズケア
【ゆうちょ銀行】店番:169、店名:一六九店、口座番号(当座):0013009、受取人名:NPO法人 アジアキッズケア

2023 年 2 月にフィリピン・ミンダナオ島を訪問し、支援している子供と家族、地域の方々、学校等の関係者と交流のうえ支援物資を配布しました。現地を訪ねて直接触れ合うことの大切さを再認識するとともに、一人一人は小さな力でもみんなで力を合わせれば支援の輪が広がり、子供たちの夢や希望を実現できると実感しました。

日本とフィリピンとは悲しい過去がありました。日本のできることやしなければならぬことがあります。子供たちが日本の国旗を持ち、感謝の歌を歌って手作りのメダルを首にかけてくれて「心からありがとう。とても嬉しいです。日本の皆様に神の祝福があるように。」との言葉は、私たちにも大きな喜びを与えてくれました。

2023. 4. 26

NPO法人アジアキッズケア 代表:喜安 美紀、事務局長:喜安 勝也

フィリピン・ミンダナオ島訪問 … 日本のまごころを添えて支援物資を配布

2月3日、ジェネラル・サントス空港に渡航(北緯6度)。日中は35度越え、日本との温度差は体温調整が難しく感じました。4泊5日の行動予定は、エドワード氏(現国立ミンダナオ大学農学部長・日本留学)が企画し、アウレリオ氏(現サラングニ州教育委員会・牧師)とともに、日本の皆様のまごころを添えて配布活動をしました。



6年ぶりの街の様子は、戦後の日本の高度成長に似ています。その中で取り残される貧困層。彼らの両親も懸命に働きますが、職種は限られ賃金が低く子供の数も多いため、生活難は今の日本に重なって見えました。両親不在の中で、ヤングケアラーとして幼い妹弟(近所の子も)を世話する子もいます。様々な理由で学校に行けない子が約3割。こうした中、貧困の子供への教育サポート(経済的援助)により、原則的に高校卒業を到達目標に掲げています。彼らが学校に行き、自立して家族と地域を支え、将来支援リーダーに成長することを願っています。



ところで、フィリピンで最もメジャーなスポーツはバスケットボールです。貧村でも手作りされたコートやゴールポストを随所で見かけ、子供が大人と一緒にエンジョイしていて、スポーツの力はすごいなあと感じました。

最終日にミンダナオ島・サラングニ州(人口約54万)教育委員会のトップリーダーと交流。日本の子供が支援に参加していることや学校で行う清掃活動で話が盛り上がり、私たちの活動に感謝のメッセージをいただきました。



サポートしているマラウィ孤児が大学卒業・・・私たちの喜び・誇り・希望です

マラウィ孤児のKondwani が大学を卒業し、農学学位を取得。彼が小学校の頃より(小学生時の写真)支援物資を届け、Mwendama 夫人宅で寄宿生活をし、モーゼス博士(マラウィ政府農業科学者・日本留学)とともにサポート。マラウィは就学率が低く、多くの子供が学校をドロップアウトする現実の中、孤児たちを支えてきました。

彼の大学卒業は、私たちの喜び、誇り、希望です。彼は孤児たちの良きロールモデルになってくれるはずで、私たちは孤児だった子供が成長し、素晴らしい子供救済者になって活躍した事例をいくつも知っています。孤児ゆえの貧しさ、苦しさ、寂しさ等を体験しているからこそ、同胞の子供に愛を注ぐのだと思います。彼は就職して収入を得ることができ始めたら、他の孤児に対して彼が受けた同じサポートをすると語ってくれました。



子ども食堂を毎月開催・・・孤立・困難な子供と家族、高齢者、外国人等の皆様へ

「ハレルヤ子ども食堂」を2021年11月より始めて1年半が経過。毎回、手作りの食事をまごころ込めて調理し、会食形式(持ち帰りも可)で提供しています。楽しいレク(紙芝居等)もあり、みんなが笑顔になり、心の休まる温かい居場所になっています。子供と家族、高齢者、外国人、障がい者の方々、どなたも大歓迎です。子供たちが、元気で、心優しく成長することを願っています。外出が困難な方にはご家庭に食事等を届けています。

○日時：毎月第2・4土曜日 11:30～13:30 ○参加費：子供無料、大人200円(後期高齢者は無料)

○会場：松山福音センター(松山市平和通1丁目6-6、TEL089-925-1008) ※駐車場有、ボランティアも歓迎



荷造りボランティアを継続19年・・・支援物資は18か国に1,152箱を発送

世界のコロナ禍の中、この1年間、支援物資(衣類、文房具、楽器、日用品等)を次のように発送・配布しました。

- ・2022.6 インド(6) ・2022.8 ブータン(4) ・2022.10 フィリピン(大4) ・2022.11 フィリピン(大2)
- ・2023.1 コンゴ民主共和国(3) ・2023.3 マリ、バングラデシュ(4) ・2023.4 フィリピン(大3)

※支援物資の送付実績 1,152箱、送料経費総額 7,546,171円(2023.4 現在)



<荷造りボランティアに参加してみませんか> ※コロナ感染拡大防止対策をして実施

【実施日時】偶数月の第3日曜日：14時～16時 【実施場所】アジアキッズケア事務所・駐車場あり

小学生から大人まで参加し、留学生等による母国紹介、楽しい国際交流や国際支援活動の場になっています。

※できれば、支援物資(夏物衣類、文房具、ピアノカ、バッグ、バスケット・サッカーボール等)をご持参ください。